

3

人

——社会への配慮

人は、富の創造を牽引したり、革新的な製品・サービスを開発したり、暮らしや仕事の間となるコミュニティを支援するグローバルで経済的な豊かさの中心に置かれている。

世界経済フォーラム白書「ステークホルダー資本主義を測定する」より

102

103 当グループの「人」(社会課題)に対する考え方

104 人的資本

122 人権の尊重

125 環境・社会課題の解決に向けた取り組み



当グループの「人」(社会課題)に対する考え方

SDGsが目指す持続可能な社会は「人間を中心に据えた社会」を想定しており、17のゴールは究極的には人々の幸福を目指すものです。1948年、WHO(世界保健機関)は人間の幸福な状態をWell-being(精神的・肉体的・社会的に満たされた状態)と表現し、OECD(経済協力開発機構)はWell-beingの条件を所得や雇用、住宅といった実体が伴った有形のものと健康や教育、社会とのつながりなどから得られるQOL(生活の質)という無形のものからなると定義しました。当社は豊かさの追求や地球環境の配慮に関わる取り組みも、最終的にはお客さまや社員だけでなくあらゆる「人」のWell-beingにつながるポジティブインパクトの創造と整理しています。

OECDによるWell-beingの定義

有形のもの	無形のもの(QOL:生活の質)	
<ul style="list-style-type: none"> 所得と富 雇用と収入 住宅 	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態 ワークライフバランス 教育・技能 政治との関わりとガバナンス 	<ul style="list-style-type: none"> 社会とのつながり 環境品質 個人の安全 個人が感じている総合的な生活満足度

関連するマテリアリティ

インパクトマテリアリティ

マテリアリティ	リスク/機会	主たるステークホルダー	主な対応
ESG/ サステナビリティ経営	リスク/機会	社会、お客さま、社員	気候変動、生物多様性、資源循環・サーキュラーエコノミー、大気・水質・土壌汚染への対応、投融資先企業におけるESG経営のサポート。

ガバナンス・経営基盤マテリアリティ

マテリアリティ	リスク/機会	主たるステークホルダー	主な対応
リスク管理とレジリエンス	リスク	社会、お客さま、株主、社員	人権侵害の防止、人権の尊重。
人的資本	リスク/機会	社会、社員	多様な価値観を有する人材の確保、登用、人材群の構築。 心身ともに健康で会社のパーパスに共感しながら多様性を認め合う良好な人間関係の醸成。 自分の価値や強みの発揮。

関連性の高い SDGs

